

子どもの権利と要求、教育・社会の役割

子どものしあわせ
おとなもしあわせ

第59回

教育科学研究会全国大会

【主催】教育科学研究会・奈良大会実行委員会

【後援】奈良県・奈良県教育委員会・奈良市・奈良市教育委員会

【会場】

はじめの集い
奈良県文化会館と
オンライン
奈良市登大路町
近鉄奈良駅徒歩5分

終わりの集い
奈良県教育会館と
オンライン
奈良市登大路町
近鉄奈良駅徒歩5分

分科会

全てオンラインにて実施

2021/7/31(土)8/1(日) 2(月)

昨年はコロナ禍で、あらめて社会や教育の役割が問われた1年でした。子どものしあわせ、おとなもしあわせとは何なのか、原点にたちかえって語りあいたいと思います。「対面式とオンラインでのハイブリッド方式」で開催しますので、参加方法にご注意ください。

7 / 31 土
13:00～
15:30
はじめの集い
記念講演

8 / 1 日
9:30～12:00
オンライン分科会①
12:00～13:00
休憩
13:00～17:00
オンライン分科会②

8 / 2 月
9:30～12:00
オンライン分科会③
★のみ開催
12:00～13:00
休憩
13:00～15:00
終わりの集い

☀️ はじめの集い (31日 13:00~15:30)

あいさつ

今正秀 (大会現地実行委員長)

佐藤広美 (教科研委員長)

報告

奈良教育大学附属小学校の児童会活動

記念講演 藤原辰史さん (京都大学人文科学研究所准教授)



「子どもの商品化に抗する思想」

【プロフィール】 1976年生まれ。

主な著書 『ナチスのキッチン』 (水声社)、 『給食の歴史』 (岩波新書)
『分解の哲学』 (青土社)

☀️ おわりの集い (2日 13:00~15:00)

記念講演 越野和之さん (奈良教育大学教授)



「子どもに文化を 教師にあこがれと自由を」

【プロフィール】 1964年東京生まれ

全国障害者問題研究会、専門は障害のある子ども・青年の教育学、主な著書『子どもに文化を 教師にあこがれと自由を』 (全障研出版)

閉会あいさつ 吉益敏文 (教科研副委員長)

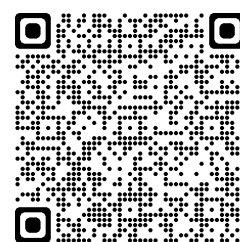
【分科会】 (1日午前・午後、2日午前) ★の分科会のみ2日午前も開催します。

分科会名 テーマ	内容 (話し合いの柱)	世話人
1 子どもの生活と文化		
コロナ禍における子どもの生活実態と子どもの権利条約	○学童からの報告○熊本からの報告○子ども食堂の取り組みから	泉 宜宏 (東京) 本庄 眞 (三重) 渡慶次元 (奈良)
2 青年期の教育 3 能力・発達・学習 16 現代の子育てと親・大人 合同分科会		
子ども・青年・大人の成長、自己の育ち、発達について考える	○青年・大人の育ちと成長○文学教育と子どもの発達○学生の自己を耕す	宮田雅己(神奈川) 南出吉祥(岐阜) 富田充保(神奈川) 吉益敏文(京都) 田中孝彦(東京) 渡邊由之 (大阪)
4 身体と教育		
コロナ禍で考える“身体”と“子どもの権利”の保障	○生きる・育つ○学ぶ○文化を享受する	横田誠仁 (東京) 長谷川芳彦 (奈良)
5 美的能力と教育		
今を生きる人々の表現から学ぶ	○子ども・青年・成人それぞれの表現の真実性と豊かさ ○美術・演劇、プロジェクトから生まれる表現	山田康彦 (三重) 山室光生 (奈良)
6 ことばと教育		
主権者を育てることばと教育の創造	○ことばの豊かな発達とコミュニケーション○ことばを育てる国語・外国語の授業○生活に根ざして紡ぐ自己表現活動	神 郁雄 (東京) 寺井治夫 (京都)
7 社会認識と平和★		
コロナ禍の下、社会認識を問う	○感染症と子ども・授業○歴史に学び、生き方を考える ○オンラインと公民の授業○教科書検定の検討	池田考司 (北海道) 佐藤広美 (東京) 一盛 真 (東京)
8 自然認識と教育		
学習主体者を育てる自然認識の発達過程の探求	○小中学校理科の目的と内容、教育課程を基本から考える ○自然認識発達の本質的で、「深い」学びの実践的探究	三石初雄(東京) 谷 哲弥(京都)
9 道徳性の発達と教育		
子どもの育ちを支える道徳教育	○「道徳と教育」部会のあゆみと課題 ○実践とは何か (大江未知×奥平康照) ○思春期の育ちを支える	櫻井 歓 (東京) 後藤 篤 (宮城)
10 教育課程と評価		
教育課程はどう変わる？立ち止まって考えよう	○算数の教育課程づくり○教師になる学生にどんな学びを提供するか○教育のICT化で授業と教育課程は	本田伊克 (宮城) 今井勇人 (奈良)

分科会名 テーマ	内容 (話し合いの柱)	世話人
11 学校づくり		
今を生きる子どもと共に学校をつくる	○新型コロナ問題と子ども、学校 ○いま、学校は ○異世代間の共同 ○地域と学校	田沼 朗 (東京) 山沢智樹 (宮城)
12 地域と教育		
“ひとなる”ことの舞台(地域)を共に学びあう	○社会的文化的胎盤＝地域からの報告 ○奈良養護学校院内学級(バルツァー教室)他からの報告	安藤聡彦(埼玉) 乾 言子(奈良)
13 政治と教育★		
今日の課題と問題点を探るー主権者の育ちのために	○政治教育 ○シティズンシップ教育 ○新科目「公共」の授業をどうするか ○SDGsの検討	中田康彦 (東京) 寺尾昂浩 (神奈川)
14 性と教育		
自立と共生 子どもたちの性をどう育むか	○現代の子ども・教師と性 ○共に生きる主体を育てる実践 ○ジェンダー/セクシュアリティを考える授業	杉田真衣 (東京) 山田真理 (大阪)
15 発達障害と教育★		
子どもの理解を軸に据えた実践をつくる	○発達障害等のある子どもの理解を深め、実践につなぐ ○共に生きる主体が育つ実践をつくる	小池雄逸 (東京) 池田 翼 (奈良)
17 教師の危機と希望		
「困難」に向き合い、教師の仕事を問い直す	○「コロナ対応」と学校の役割 ○学力テスト・スタンダード体制の現状と教育実践の自由 ○多忙・非正規雇用問題を考える	山崎隆夫 (東京) 佐藤 隆 (山梨)
18 教室と授業を語る★		
今こそ、子どもと授業を真ん中に据えて語ろう	○コロナ感染症、GIGAスクールをめぐる状況 ○子どもの事実をつかむ、教科と教科外をつなぐ	大日方真史 (三重) 石垣雅也 (滋賀)

【参加申し込み】

7月1日以降に、右下のQRコードを読み込み、必要事項を記入して7月28日(水)までに参加申し込みをしてください。教科研ホームページ上のURLをクリックする方法でも申し込みが可能です。現地参加希望者も、できるだけ事前の申し込みをお願いします。



【参加費】

教職員・一般2000円、学生・院生1000円・高校生以下無料

申し込みとともに、ゆうちょ銀行の口座にお振り込みください。

ゆうちょ銀行 店番〇一八(ゼロイチハチ)

預金種目 (普通) 口座番号 4796708 口座名義 教育科学研究会

※振込確認後、参加の手引き(オンライン参加のためのURLなど)を送信します。

【問い合わせ先】

教育科学研究会事務所

東京都新宿区築地町19小野ビル2F

(電話での対応は、火曜日・金曜日13時～17時)

03-3235-0622 kyoukaken@nifty.com

教科研ホームページ：<https://kyoukaken.jp> 《教育科学研究会で検索》